

草津市立老上西小学校 学力向上策

- 学校教育目標：自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもの育成
- 校訓：自主協同
- 平成30年度重点目標【めざす子ども像】

やってみよう2018! 『やってみて、考えて、また、やってみて、考える子ども』

校内研究

「協働学習を活かした算数科の授業の創造」

～2年次 自ら考えを広げ深め、表現する子どもを育てる指導方法と評価方法の開発～

- 校内研究でめざす子ども像：自らの考えを持ち、表現していくことや共学びを通して考えを深めていくことができる子ども
- 共学びとは（老上西小）：自力解決とペア・グループ学習を組み入れることにより、自分の考えを広げ深めていく本校の協働学習のスタイル（焦点化した問いと、必要に応じた交流を大事にする。）
- 共学びのモデル（老上西小）：ホワイトボードを活用して、授業の流れを示す。型にしばられるのではなく、子どもの学びの過程の中で、どの交流が適切かを見極めながら進めていく。

気づき・見通し 自力解決 交流・コミュニケーション 一人学び・再考 まとめ・振り返り
スタートタイム ⇒ ひとりで考えるタイム ⇒

ペアで
グループで 学びタイム
みんなで

 ⇒ ひとりで考えるタイム ⇒ ゴールタイム

○教科：算数科

○研究授業：6回+α

○参観：全員参加+学年部参観

○研究会：全体交流・グループ別交流

校内研究を支える日常的取り組み

<学年集団の形成>

- ・学習規律の確立
- ・支持的風土の醸成
- ・学級経営

よりよい人間関係や学習環境をつくる

<学びの土台づくり>

- ・『話し・聞き・学び 名人、声のものさし、ノートづくり』
- ・ルールの徹底
- ・共学びを徹底する

老上西小学校 話す・聞く・話し合う 系統表までの底上げ

<基礎基本の定着>

- ・朝学習の習慣化
- ・毎日の算数タイム
- ・音読・作文への取り組み
- ・家庭学習(月1回の強化週間)
- ・ガッテンプリントの活用

「読む」「書く」「計算する」力の定着と育成

<読書活動の推進>

- ・マイブックの取り組み
- ・並行読書
- ・図書室の充実
- ・読み聞かせ

読書により語彙を豊かにし、子どもたちの言葉を増やす

<学びの把握>

- ・パフォーマンス課題の設定
- ・適用問題の設定
- ・授業の振り返り

子どもの学び状況を把握し、授業づくりに活かす

教師の姿勢

◎一人一公開授業

○教科・学級経営に関する研修

○ICT研修・活用

○たび丸ねっとの活用

○特別支援教育・生徒指導に関する研修

★教師の共学び・同僚性